

2019年度 キャリア教育に対する意識調査（学会員対象）

本調査の結果は、研究推進委員会が認める研究や講習会等での利用と学会運営の参考資料としての利用が目的であり、これら以外には使用されません。

ご記入頂いた内容は適正かつ慎重な方法で分析しますので、個人が特定されご迷惑をおかけするようなことはございません。

すべての欄に率直にご回答いただければ幸甚に存じます。

ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

★記入上の注意

質問は15問です。それぞれの指示に従ってご回答ください。

色のついた枠内にのみ入力ができます。

選択式の質問は、それぞれの質問の指示に従って、適切な選択肢の枠に「*」（半角のアスタリスク）を入力してください。

この質問の末尾に回答の返送先アドレスを記しております。調査期間は2020年2月29日までですので、それまでにご返送ください

問1 あなたの性別をお答えください。（*は1つ）

- | | |
|-------|--------------------------|
| 1 男性 | <input type="checkbox"/> |
| 2 女性 | <input type="checkbox"/> |
| 3 その他 | <input type="checkbox"/> |

問2 あなたの年齢をお答えください。（*は1つ）

- | | |
|---------|--------------------------|
| 1 20代以下 | <input type="checkbox"/> |
| 2 30代 | <input type="checkbox"/> |
| 3 40代 | <input type="checkbox"/> |
| 4 50代 | <input type="checkbox"/> |
| 5 60代 | <input type="checkbox"/> |
| 6 70代以上 | <input type="checkbox"/> |

問3 あなたの職場についてお答えください（複数の職場、役割をお持ちの場合、ご自身が主たるものとお考えのものをお答えください）。仕事をもたない学生などの方は、21を選んでください。20を選んだ方は、*を入れるとともに、その右側青欄に簡単に職場をご記入ください。（*は1つ）

10 多様な他者と協力する力	
11 働く意欲	
12 社会人としてのモラル	
13 専門的な知識や能力	
14 人生・生き方への関心	
15 自己肯定感	
16 将来の夢や望ましい生き方を追求する態度	
17 フリーターやニート、無業者にならないこと	
18 変化する社会、環境に適応する力	
19 学習や働く機会についての情報収集力	
20 学ぶことへの意欲	

問12 我が国の、青年や若い成人(おおむね、10代後半から30歳くらいまでを指します)に対する印象についておうかがいします。10年ほど前の青年や若い成人とくらべ、現在の青年や若い成人はどのように異なっているでしょうか。以下のそれぞれの面について印象を比較し、「望ましい方向へ変化してきている」(○)、「たいして変わらない」(△)、「望ましくない方向へ変化してきている」(×)の中からあなたの印象に最も近いものを記号で選んでください。(若い方も、想像で構いませんのでご回答ください)(若い方も、想像で構いませんのでご回答ください)

以下の色のついた枠内をクリックすると、右側に▼のタブが現れます。それをクリックし、○、△、×のいずれかを選ぶと、その記号が入力されます。

1 仕事や職業の社会的意義の理解	
2 多様な他者とのコミュニケーション力	
3 資格の取得状況	
4 自己理解	
5 仕事や職業に対する自分なりの意味づけ	
6 選択した進路(学校や職業)に対する満足感	
7 産業や職業の先行きを予測する力	
8 進路(学校や職業)を適切に選択する力	
9 社会に貢献しようとする態度	
10 多様な他者と協力する力	
11 働く意欲	
12 社会人としてのモラル	
13 専門的な知識や能力	
14 人生・生き方への関心	
15 自己肯定感	
16 将来の夢や望ましい生き方を追求する態度	
17 フリーターやニート、無業者にならないこと	
18 変化する社会、環境に適応する力	
19 学習や働く機会についての情報収集力	
20 学ぶことへの意欲	

問13 「問11」や「問12」では、キャリア教育のアウトカムとして、しばしば取り上げられる内容を列挙しましたが、その他に重視すべき点があるでしょうか。もしお考えの点がありましたら簡潔にお書きください。

問14 あなたは、今後どのようなキャリアの研究、実践が必要だと考えておられますか。課題、テーマなどご自由にお書きください。

問15 学会誌への投稿や研究大会での発表は、日本キャリア教育学会の会員でないといけない活動です。研究推進委員会は、こういった研究活動がより活発になるように活動していますが、ハードルが高い、難しいという声も聞きます。研究をはじめることから論文等にまとめることまで、ひろく研究活動に関して困難さを感じられていることがあれば、その内容、困難と感ずる原因・理由、必要な情報などをお教えください。

以上で終わりです。

このファイルを保存してください。ファイル名はこのままでお願いいたします。

回答返送専用アドレスまで、保存したファイルを添付ファイルにてお送りください。

メールのタイトルは「会員回答」としてください。本文は不要です。

回答返送専用アドレス re2019return@gmail.com

調査期間は2020年2月29日までです。

ご協力ありがとうございました。